

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL <https://www.sakainet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,688	△5.0	1,005	△16.7	913	△13.0	516	△12.6
2019年3月期第3四半期	18,618	△12.6	1,207	△53.4	1,050	△57.1	590	△57.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 552百万円(－%) 2019年3月期第3四半期 20百万円(△99.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	120.81	—
2019年3月期第3四半期	138.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,510	22,475	61.4
2019年3月期	35,402	22,285	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,432百万円 2019年3月期 22,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△5.1	1,050	△25.8	850	△29.2	550	△33.3	128.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,311,917株	2019年3月期	4,287,517株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	25,130株	2019年3月期	24,932株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	4,274,670株	2019年3月期3Q	4,256,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

区 分	当第3四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		前第3四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	10,586	59.8	8,064	43.3	2,521	31.3
海 外	7,102	40.2	10,553	56.7	△3,451	△32.7
北 米	2,612	14.8	3,048	16.4	△435	△14.3
アジア	3,621	20.4	6,568	35.3	△2,946	△44.9
中近東・ロシアCIS	522	3.0	116	0.6	405	346.7
その他	345	2.0	820	4.4	△474	△57.9
合 計	17,688	100.0	18,618	100.0	△929	△5.0

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、日本及び北米における国内経済が堅調に推移する一方で、米中貿易摩擦に伴う世界貿易の低迷、テクノロジー革命による産業構造変化の急進、激甚化する自然災害に対する社会的要請の高まりなど、世界情勢は一段と大きく変化して参りました。

このような情勢の下で当企業グループでは、世界情勢の潮流変化への対応を急ぐと共に、新たな事業環境に向けた成長基盤づくりに注力して参りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内躍進と海外減速の結果、前年同期比5.0%減の176億8千万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前年同期比16.7%減の10億円、経常利益は同13.0%減の9億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同12.6%減の5億1千万円となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、排ガス規制特需の反動減が解消し、前年同期比31.3%増の105億8千万円と、引き続き好調に推移しました。

海外向け売上高は、半減していたアジア市場で漸く底入れの兆しが見られ、前年同期比32.7%減の71億円となりました。

北米向け売上高は、需要がピークを越えながらも高水準に推移し、前年同期比14.3%減の26億1千万円となりました。

アジア向け売上高は、主力のインドネシアやベトナムなどで需要底入れの兆しが見られ、前年同期比44.9%減の36億2千万円となりました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、中近東ロシアが引き続き不安定な地域情勢の中で低迷しましたものの、CIS向けプロジェクト案件により、前年同期比4.4倍の5億2千万円となりました。

その他市場向け売上高は、中南米、アフリカ、大洋州ともに低迷し、前年同期比57.9%減の3億4千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総 売 上 高	百万円 14,896	百万円 14,585	百万円 310	% 2.1
	営 業 利 益	810	205	604	294.6
米 国	総 売 上 高	2,633	3,131	△498	△15.9
	営 業 利 益	△76	157	△233	—
インドネシア	総 売 上 高	2,638	5,679	△3,040	△53.5
	営 業 利 益	12	815	△803	△98.5
中 国	総 売 上 高	857	1,193	△336	△28.2
	営 業 利 益	20	△19	40	—
調 整 額	総 売 上 高	△3,336	△5,971	2,635	—
	営 業 利 益	238	48	190	—
連 結	総 売 上 高	17,688	18,618	△929	△5.0
	営 業 利 益	1,005	1,207	△202	△16.7

日本

国内販売が好調に推移して輸出の減少をカバーしました結果、総売上高は前年同期比2.1%増の148億9千万円、営業利益は同約4倍の8億1千万円となりました。

海外

米国では、総売上高は前年同期比15.9%減の26億3千万円、営業利益は中国工場製品の米国工場への生産移管に伴う原価上昇の結果、7千万円の営業損失となりました。

インドネシアでは、国内及び第三国向け販売共に停滞が続き、総売上高は前年同期比53.5%減の26億3千万円、営業利益は同98.5%減の1千万円となりました。

中国では、北米輸出を縮小させる一方で国内販売を拡大させました結果、総売上高は前年同期比28.2%減の8億5千万円ながら、営業利益は黒字転換して2千万円とすることが出来ました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析は、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ11億円増加し、365億1千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が9億3千万円増加、受取手形及び売掛金が6億3千万円増加し、たな卸資産が5億9千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億3千万円増加し、239億3千万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が2億1千万円増加、投資有価証券が2億4千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億7千万円増加し、125億7千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が4億6千万円増加、未払法人税等が3億3千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億2千万円増加し、117億3千万円となりました。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8千万円増加し、22億9千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が8千万円増加、その他有価証券評価差額金が1億9千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億9千万円増加し、224億7千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント減少し、61.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後国内では、総額7兆円の国土強靱化緊急対策に加え、度重なる自然災害に対して総額13.2兆円（内公共投資6兆円）の総合経済対策が決定されましたので、政府建設投資底上げによる底堅い事業環境が続くものと期待されます。

海外では、世界的な金融緩和やインフラ投資による経済対策が動き始め、東南アジア諸国でも斑模様ながら経済情勢に底入れの兆しが見えつつありましたものの、年初からは中東における軍事衝突リスクや新型コロナウイルスのパンデミックリスクが加わり、世界情勢は引き続き予断を許しません。

このような見通しにおいて当企業グループでは、変化を大前提とした事業経営と、海外事業と次世代事業による中長期成長戦略を基本とし、需要変化対応力の強化、米中対立に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、新技術活用による次世代事業の開発、組織能力のバージョンアップ投資など、変化対応と成長戦略を積極的に推し進め、新たな事業環境における成長基盤を固めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,282,830	5,215,219
受取手形及び売掛金	7,907,766	8,539,687
商品及び製品	4,500,076	4,565,714
仕掛品	1,832,262	1,342,252
原材料及び貯蔵品	3,570,391	3,396,254
その他	1,241,981	910,615
貸倒引当金	△33,913	△34,439
流動資産合計	23,301,394	23,935,303
固定資産		
有形固定資産	6,433,764	6,645,155
無形固定資産	644,545	640,717
投資その他の資産		
投資有価証券	3,331,735	3,578,206
その他	1,691,524	1,711,410
投資その他の資産合計	5,023,260	5,289,617
固定資産合計	12,101,570	12,575,490
資産合計	35,402,964	36,510,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,922,344	5,388,828
短期借入金	4,344,125	4,354,070
未払法人税等	67,435	404,552
引当金	169,622	154,263
その他	1,406,560	1,437,630
流動負債合計	10,910,088	11,739,346
固定負債		
長期借入金	1,262,895	1,242,601
退職給付に係る負債	106,914	116,847
その他	837,778	936,617
固定負債合計	2,207,588	2,296,065
負債合計	13,117,677	14,035,412

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,158,962	3,191,658
資本剰余金	6,404,905	6,437,601
利益剰余金	11,085,205	11,174,175
自己株式	△60,905	△61,446
株主資本合計	20,588,168	20,741,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,431,136	1,623,569
為替換算調整勘定	215,040	59,312
退職給付に係る調整累計額	8,365	7,879
その他の包括利益累計額合計	1,654,543	1,690,762
非支配株主持分	42,576	42,631
純資産合計	22,285,287	22,475,382
負債純資産合計	35,402,964	36,510,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,618,518	17,688,819
売上原価	13,421,093	12,933,711
売上総利益	5,197,424	4,755,108
販売費及び一般管理費		
運搬費	314,662	286,235
給料及び賞与	1,606,793	1,574,352
技術研究費	592,576	547,518
その他	1,476,090	1,341,733
販売費及び一般管理費合計	3,990,122	3,749,839
営業利益	1,207,301	1,005,268
営業外収益		
受取利息	6,635	2,348
受取配当金	98,199	109,088
その他	18,700	27,172
営業外収益合計	123,535	138,610
営業外費用		
支払利息	122,625	130,791
金融手数料	84,915	52,429
為替差損	66,857	40,810
その他	6,407	6,060
営業外費用合計	280,806	230,091
経常利益	1,050,030	913,787
特別利益		
固定資産売却益	9,756	2,562
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	9,766	2,562
特別損失		
固定資産処分損	843	—
特別損失合計	843	—
税金等調整前四半期純利益	1,058,954	916,349
法人税等	462,263	398,662
四半期純利益	596,690	517,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,729	1,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	590,960	516,440

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	596,690	517,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△571,491	192,433
為替換算調整勘定	△5,412	△156,919
退職給付に係る調整額	665	△485
その他の包括利益合計	△576,237	35,027
四半期包括利益	20,453	552,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,518	552,664
非支配株主に係る四半期包括利益	5,934	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。